

小学校から大学まで全ての教育施設で自己評価を行い、よりよい運営をすすめ、教育水準の一層の向上を図ることが定められ、本園も学校評価委員会の取り組みが12年目を迎え、年々素晴らしい成果をあげています。先日、学校評価委員会が開催されましたので、その結果を保護者の皆様にお知らせいたします。

1、本園の教育目標

令和2年度

<p>エンゼル幼稚園 教育の3つの柱</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情操教育（コミュニケーション英語・音楽リズム・科学教室・絵画制作・習字・文字・数遊び・絵本の読み聞かせ） ○健康教育（スイミング指導・幼児体育指導・自園で作る給食による食育・交通安全教室や避難訓練で身を守る指導） ○心の教育（おじぎをして挨拶・基本的生活習慣・しつけ・背筋を伸ばす・命を大切にすること・進んでお手伝いし、感謝する心） <p>以上、三つの教育を通して一人ひとりの個性・感性を引き出し、伸ばす教育に取り組む。</p>

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

<ul style="list-style-type: none"> ○心も身体もたくましい生き生きとした子どもを育てる。 ○本園の教育方針に基づき、一人ひとりの個性を伸ばす。ほめて自信をつける。 ○心の教育（挨拶、基本的生活習慣、しつけ等）を推進する。 ○手作り給食を通して食育に力を注ぎ、健康で丈夫な身体作りを注ぐ。
--

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
<p>○心も身体もたくましい生き生きとした子どもを育てる。 本園ならではの特色ある教育内容を推進する。 自分の力で「見る・触れる・試す」体験学習と5秒待つ保育を通して自分でできたという自信と意欲を伸ばす。 教師は子どもたちのいいところ見つけをし、できたことを認め、ほめることでさらに自信をつけ、意欲的に取り組めるよう働きかける。 子どもたちの目がキラキラ輝くような楽しい保育を目指し、子どもたちの意欲を刺激するような新しいアイデアをどんどん取り入れる。少しの時間でも楽しめる集団遊びなどをたくさん用意しておく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園の重要な教育目標や教育方針について全教職員が周知できるように繰り返し話し合いを行っている。 ・様々な行事を体験することを通して情操教育・健康教育・心の教育の3つの柱に基づき、自分で「見る・触れる・試す」力を伸ばし、一人ひとりの豊かな個性を育てている。 ・できたことを認め、褒めることで意欲を引き出せるよう指導している。 ・子どもたちがやってみたい気持ちを大切に、日々の保育の中でワクワクするような新しい活動にチャレンジしたり、毎日の保育に変化をつけ、新しいアイデアをどんどん取り入れている。
<p>○本園の教育方針に基づき一人ひとりの個性を伸ばす。 英語、音楽リズム、科学教室、絵画制作、習字、文字数遊び、絵本の読み聞かせによる情操教育を推進する。 英語は授業ばかりでなく、外国人講師と園生活を一緒に過ごす中でコミュニケーション力を高めていく。また外国人講師との連携を深めながら英語のCDやカードを活用し、英語により一層、親しめるように働きかけていく年間を通してスイミング指導、幼児体育教育による健康教育を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園での様々な行事を通じて、音楽リズム、英語、科学教室、絵画制作、習字、文字・数遊び、絵本の読み聞かせ、スイミング、体育などの活動で一人ひとりの個性をのびのびと育てている。 ・英語は授業ばかりでなく外国人講師と一緒に園庭で遊んだり給食を食べたりする中でコミュニケーション力を高めている。 ・また、外国人講師と意見交換をしながら連携を深め、日頃の保育の中にできる限り英語を取り入れていくよう配慮している。
<p>○心の教育（しつけ、挨拶）を推進する。 立ち止まって相手の目を見ておじぎをして元気よく挨拶ができる子に育てる。 履き物（靴・上靴・トイレのスリッパ）を揃えることからロッカー、お道具箱など身の回りを整理整頓する習慣を身に付ける。 おもちゃ、絵本などを大切に扱い、整理整頓する習慣を身に付ける。 園でも家庭でも進んでお手伝いをして人が喜ぶことをできる子どもたち、社会に役立つ子どもたちに育てる。感謝する心を育てる。 お友だちに優しくできる思いやりのある子どもを育てる。 動植物の飼育・栽培を通じて命を大切にすること子どもたちを育てる。 活動に入る前に、イスにピッタリおしりをつけ背筋を伸ばし集中力を高める。 まっすぐ手を挙げて「はい」と返事ができる子どもたちを育てる。 子どもたちが意見を発表する場を持ち、皆の前で自分の意見を発表することができ友だちの意見を聞くことができる子に育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会・帰りの会で先生が子どもたちのお手本になるよう、おじぎをして笑顔で元気よく挨拶をし、また相手の目を見て挨拶することや全ての先生や来客者にも元気よく挨拶するよう指導している。 ・トイレのスリッパや上靴、靴を揃えたり、お道具箱、ロッカー、本棚等の整頓が習慣付くよう働きかけ、みんなで教室を掃除する時間を持ち、協力しあってきれいにする取り組みをしている。 ・園でも家庭でも進んでお手伝いができ、人が喜ぶことをできる子どもたちに育てている。そして友だちにやさしくできるよう、またしてもらったことに「ありがとう」ときちんと伝えるよう指導している。 ・動植物の飼育・栽培を通して命の大切さを指導している。 ・活動に入る前や給食の前に「背筋ピン」と言葉掛けし、発表する時も手を真っ直ぐ挙げて、「はい。」と短く返事するよう指導している。 ・話し合いの場を持ち、自分の意見を手をあげて発表したり、友達が発表するときはしっかり聞き、拍手するよう取り組んでいる。
<p>○手作り給食を通して食育に力を注ぐ。 園の給食室で作る温かい給食を通して、食べることへの興味や意欲を育てる。 給食の時間に赤・黄・緑の栄養素について身体にどんな働きがあるか理解を深め、好き嫌いをせずバランスよく食べることの大切さを指導する。 給食の時間に食事のマナーを身につけていけるよう指導する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・赤・黄・緑の栄養素の表や手作りのボードを使って、どんな食べ物にどんな栄養があるかクイズにしながら楽しく学んでいる。 ・子どもたちが食べることを感じられるよう、食育の紙芝居を活用し、ランチルームでクラス合同で食べる機会を持っている。 ・食事中は立ち歩いたり、肘をついたりせず、姿勢良く、食べ残しがないようにきれいに食べることなどのマナーも指導している。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学校評価に取り組んで12年目をむかえ、大きな成果を上げてきている。おじぎをして挨拶、思いやりの心、感謝する心、身の回りの整理整頓、集中力を高めるために姿勢を正すこと、3つの栄養素を理解する食育、外国人講師とのふれあい英語など継続的に取り組んでいくことで各自の課題を明確化し、より良い幼児教育を目指して取り組む姿勢が見られた。また重点目標についても教職員全員で経過状況を振り返り、自分自身の取り組み状況を確認しながら、より良い幼児教育を提供できるようになってきており、今後も教職員全員が互いに切磋琢磨して、一段と質の高い幼児教育を提供していけるよう全力で取り組んでいきたい。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
英語・体育・音楽リズムなど様々な体験を通して子どもたちの豊かな個性を引き出し、心も身体も心も身体もたくましい生き生きとした子どもを育てる。 今後より一層、子どもたちの旺盛な好奇心を満たせるよう、子どもたちの目がキラキラと輝く楽しい教育活動を工夫して取り入れていく。 少しの時間でも有意義に過ごせるよう配慮する。	* 英語・体育・音楽リズムなど日々の教育活動や誕生会、行事の中で楽しみながら意欲的に取り組めるよう配慮する。 * 子どもたちの目が輝くような楽しい活動や遊びを取り入れる。 * 教師は様々な情報を集め、子どもたちの意欲を刺激するような新しいアイデアを取り入れ、子どもたちが主体的に活動できるように配慮する。また教員同士でアイデアを出し合ったり、良いアイデアは互いに取り入れ、子どもたちの目がキラキラ輝く保育を実践する。
元気よく挨拶できる園児が随分増えたが、まだ立ち止まっておじぎをして挨拶することが難しい子どもがいる。 友だちに何かをしてもらった時はありがとうと伝え、自分も友だちが喜ぶことができるよう働きかける。 進んでお手伝いすることで人が喜ぶことをたくさんできる子どもたちに育てる。	* 日常の挨拶を元気よく大きな声でおじぎをしてできるよう教師がお手本になる。 * 挨拶をする時はきちんと相手の目を見て、立ち止まってできるよう指導する。 * 「おはようございます」「さようなら」「ごちそうさまでした」「ありがとう」「失礼します」などの挨拶ができるよう指導する。 * 感謝し、感謝される“ありがとう運動”を推進し、家庭との連携を大切にしていって園でも家庭でもお手伝いを進んでできるよう働きかける。 * 人が喜ぶことをできる子ども、やさしい思いやりのある子どもを育てる。
英語の専任講師との連携を取り、意見交換しながら外国人講師と英語でコミュニケーションをとる力を一層、高めていく。英語のゲームを通して楽しく学ぶ。	* 英語でコミュニケーション能力を高めていくために授業時間以外にも英語講師と触れ合いながら担任が園生活の中で英語を取り入れ、英語のCDやカードを活用して、英語でいろんなゲームをすることで遊びの中で身に付けていく。
保育活動に入る時、まず背筋を伸ばして姿勢を正し、集中力を高める。 まっすぐ手を挙げて「はい」と返事ができる。 自分の意見を発表することができ、友だちの意見を聞くことができる。 子どもたちが自分で考える力を伸ばす。	* イスにおしりをピタリつけて背筋を伸ばし、正しい姿勢で心を整え、集中してお話を聴ける子どもを育てる。 * まっすぐピンと手を挙げて「はい」と元気良く返事ができる子どもを育てる。 * 意見を発表しあう場を持ち、皆の前で自分の意見をいうことができ、友だちの意見を聞いて、拍手できる子どもたちに育てる。 * 5秒待つ保育を心掛け、自分で考え、行動できる主体性を伸ばす。
温かい手作り給食を通して、食べることへの関心を深め、より一層、食育に力を注いでいく。 食事をする時の正しいマナーを身につける。 楽しく食べる環境を整える。	* 各クラスで工夫しながら3つの栄養素に分類して楽しく学べるようにしたり、食材の役割について話をし、バランスよく食べることの大切さを指導する。 * 食事をする時は姿勢を正してきちんと座り、肘を付いたりしない。 * 食事の前に「いただきます」と手を合わせ、食べ物に感謝する心を育てる。 * ランチルームを活用し、食べることへの興味を育てる。
子どもたちに身の回りを整理整頓する習慣を身につけるため、まず履物をそろえる習慣付けに力を注ぐ。 園児の安全、事故防止のために環境整備に努める。	* まず靴箱の外靴、上靴を揃えることを基本にして、自分のロッカーやお道具箱等、身のまわりを整理整頓する習慣を身につける。 * 教室の整理整頓、園舎・園庭の美化に努め、園児がケガをしないよう配慮し、みんなで大切にきれいに使うよう働きかける。

6、学校関係者の評価

結果	理 由
A	指摘すべきことはなく、妥当であると認められる。

7、財務状況

公認会計士の監査により、適正に運営されていると認められている。